

ヨコスカ Discovery

ティスカバリー

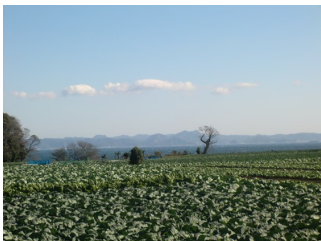
第16回 河津桜、菜の花、 青い海、早春の道

万代会館と周辺の古刹、横須賀と三浦の市境の台地から臨む金田湾の青い海、ピンクの河津桜と黄色い菜の花。津久井浜駅から小松ヶ池まで、春の訪れを感じる散策コースです。(約6.5km、所要時間:約2時間30分)

歩くときの ワンポイントアドバイス

寒い日が続きます。筋肉や腱も冷えて固まっているので、最初はゆっくりと歩き始め、徐々に身体をあたためていきましょう。

市境の台地からは360度のパノラマが広がる



京急線と河津桜

河津桜は、大島桜と寒緋桜の自然交配種で原木は今でも伊豆の河津町にある。開花が早く、色はソメイ吉野と比べピンク色が濃い。沿線の約1000本の桜は、平成11年から植樹された。



東光寺

創建は行基、本堂裏手の7基の五輪塔は三浦一族「津久井氏」の墓と伝えられる。また、本堂左の墓地内には2月初旬には開花する「ヒマラヤ桜」がある。



往生院

永禄元年(1558)創建。現存の阿弥陀像は市指定重要有形文化財。

三樹院

寛永6年(1629)創建。三浦三十三観音の第10番札所。境内の井戸は「三浦五井」の「今井」と言われる。



万代会館

帝国銀行頭取、東京通信工業(現ソニー)の会長であった万代順四朗氏の妻、故トミ氏より市に寄贈された茅葺屋根の貴重な建物。現在は、市民の文化活動の場として利用されている。

開館時間: 9:00~17:00
休館日: 月曜、祝日の翌日(月曜にあたる場合は火曜)、12/29~1/3

法蔵院

元久元年(1204)の創建。山門の龍の彫刻は、左甚五郎の作と伝えられている。本堂屋根の「鵲尾(しび)」が特徴。



小松ヶ池

江戸時代後期、地元の名主金子惣左衛門が溜め池として改修工事。広さ約6000坪で、三浦半島では珍しい渡り鳥の飛来地。池の周囲にも河津桜がある。

ゴール

→ 三崎口駅